

仕事を語る会

古民家再生

総会后、福田氏が設計、河合氏が施工されました、古民家改修について、設計側や施工側の苦勞や古い建物を再生するための他の職人さんとの協同など、色々な経験のお話しをしていただきます。会員外の方も気軽にご参加ください。ご参加を心よりお待ちしております。

敷地は、広い前庭や米蔵が2つあるとても立派な古民家です。

明治14年(1881年)頃に建てられたもので、持ち主の方はハウスメーカーでの建て替えを考えられていたそうですが、この古民家の「おくどさん(土間空間にあるカマド)のある景色」がとても素敵だったため、どうにか残したいと思われた、上丸さん・河合さん・福田さん達が「古い住宅を生かそうプロジェクト」を立ち上げて、再生・改修して住まいとギャラリーとして使い続けてもらうようお話をし、了承をいただいたということです。

- 日時 仕事を語る会 2018年5月13日(日) 14:30~17:00
懇親会 17:30~(事務所内にて)
- 会場 新建愛知支部事務所 名古屋市中区伊勢山2丁目11-13 サトビル4階401号
(東別院駅より南下、約徒歩7分)
- 内容 仕事を語る会「古民家改修での会員同士の協同」講師：福田啓次、河合定泉
- 参加費 仕事を語る会 会員無料(会員外500円)、懇親会 2000円程度



土間の上を飛ぶ曲がり梁



2階からの前庭の景色



玄関から座敷、床の間を見る



食堂、キッチンを見る



「T邸古民家改修での会員同志の協同」

2018. 5.13. 大工：河合定泉

1. 始まりは親切な家具屋さんの奮闘から
倉の解体、ヒビ割れをみた。→ 建築改修(上丸さん) 発注(1/27) → 解体完了
2. 私だけでは荷が重いので福田さんをまきぞえに
「新建の仲間との協同ならばより素晴らしい仕事ができるはず」の思い
3. 設計の基本「この姿を残しながら今の生活を快適に」
 - ①石場建てでの耐震補強・改修
 - ②床暖房・バリアフリー
 - ③材料は地域材で *大工 外装は「愛知の民家」*
4. 「この住宅は美しくよみがえる」と私には自信があった
これまでの経験&伝統木構法を熟知した設計士と上丸さんがいる
5. スケルトンにしてはみたものの・・・
 - ・屋根の変形が並大抵ではない
 - ・レンガ基礎が役に立たない
 - ・北側の軸組が全滅 「ああ解体した方がよかったかも」と後悔
6. 職人の技術による奮闘
屋根葺き職人・左官
7. 古民家再生という仕事ならではのよこび
毎日穴埋め 150年前の大工との対話 *明治40年*
8. 上丸さんを新建の仲間にもかえたい
福田さんへの信頼
9. 突然上丸さんに異変が
余命半年・・・10か月後に尽きた命
10. 再び暗礁に乗り上げる
「あなたたちを見ていると悪い人に見えないから」と
11. ついに夢に見た姿の完成を
12. 新建として得た課題
 - ①建築職人を守り育てる必要性 *職人の心(親、師匠、左官、右官)*
 - ②「スクラップ&ビルド」から「住みつなぐ」というストック型へ
 - ③景観を守ることに「わたし達の町」というアイデンティティーを *→ 町並みの景観を?*
 - ④建築のさまざまな壁をのりこえる「新建会員の協同」→新しい建築人に *大工さん、27歳(平成11) 足利から60才*